

環境だより



清掃課 57 4100

何かの理由で、次の収集日まで待てないゴミってありませんか。特に、粗大ゴミ。皆さんは、どうしていますか。そんなときは、直接、クリーンセンターに持ってきてください。

平日だけいいの？
ぜひ、持ってきてください。粗大ゴミを受け付けているのは、日曜日だけではありません。クリーンセンターでは、他のごみも月曜日から金曜日の午前9時から午後4時（正午から午後1時を除く）まで、持ち込んでいただけます。祝日もやっていますので、お仕事などで忙しい方もご利用ください。

次の収集まで待てないゴミ

お金がかかるの？
通常の家庭から出されるゴミ（の量）については、まちのステーションに出していただき、皆さんの税金で収集・処理をしています。

今すぐ片付けたいゴミや多量のゴミは、例外的なゴミとして処理料金をいただいておりますので、ご理解ください。

処理料

- 可燃・不燃ゴミ
50 kgまで無料。超えた場合は10 kgにつき50円。
- 粗大ゴミ
100 kgまで無料。超えた場合は10 kgにつき50円。
- 資源物
重さに関係なく無料。

持ち込む時のゴミの分別は？
市が配ったチラシを見て、分別してください。クリーンセンターでは、ゴミの種類によつて降ろしてもらおう場所が決まっています。車などに積み込む時は、種類ごとにまとめてください。

降ろす順番としては、可燃ゴミ、資源物、粗大ゴミ、不燃ゴミの順です。

消防最前線

Journal
of
Fire
Department
119

URL <http://www.city.gamagori.aichi.jp/syoubou/index.html>

消防士のズボンのポケットをよく見ると、中から何かのぞいています。何だろうとよく見ると、その消防士の「マイ皮手袋」が顔をだしています。

消防士の現場活動やさまざまな作業には、手袋が欠かせません。火災現場では、鋭利な物に切れにくく、高温にも耐えるケブラーという特殊な繊維で編まれた手袋を使用します。燃え盛る炎の熱から防火衣とともに手を守り、かわらやガラスを取り除く際の保護をします。救助現場では、事故車両や機械などからの救出作業において破れにくく、救助器具の取り扱いにも邪魔にならない皮製の手袋を装着

消防士と手袋

します。ちなみに、救急車で駆けつける救急隊も手袋を使用します。傷病者に対するとき、血液感染などを防止するために使い捨ての薄いゴム手袋をはめます。

このように、消防士の活動と手袋には深いつながりがあるため、消防士たちは、それぞれ自分用の皮手袋を持っています。消防士は、手袋が多量の現場で活躍するたびに、汚れれば洗濯をし、破れれば針と糸で修繕をします。こうしていくうちに、手袋が消防士の手にフィットするようになり、その消防士の「マイ皮手袋」となるのです。手袋を大事にしているせいか、各消防士には手袋に対する思いがあるようです。ときには消防士同士で、「このタイプは口グープが握りやすい」とか「薄くて素手みたいだけど破れにくい」と、それぞれの手袋への思いがこもった手袋ウンチクを語りあったりします。今ごろ「マイ皮手袋」について熱く語っている消防士がいるかもしれませんね。